

大文字だより

明けましておめでとうございませう。一般社団法人全国中小建設業協会の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は振り返りますと、まず新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更され、世の中が少しずつ日常を取り戻しました。長きにわたり感染防止対策にご協力いただいた府民の皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。そして、明治以来中央省庁で初となる文化庁の京都移転が実現しました。千年にわたる歴史と文化が日々の生活に息づく京都で国と協力して新しい文化政策を創り上げることは、京都のみならず日本全体の地方創生推進に向けての大きな一歩であり、私たちは着実に新たな歴史の扉を開けてつづけてまいります。

「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」。これは、明治時代に活躍した啓蒙思想家・福沢諭吉の言葉です。目まぐるしく社

会が変化を続ける現代において歩みを止めることは、後退するに等しいかもしれませぬ。しかし、時代の変化を柔軟に受け容れながら、受け継がれてきた伝統に常に

点が迎えている中、小さな歩みを積み重ねて大きな前進につなげ、新しい価値を常に生み出し続け、活力にあふれ誇りの持てる京都づくりを進めてまいります。

来年には、いよいよ大阪・関西万博が開幕します。新名神高速道路も全線開通に向け、着実に整備が進められております。私たち京都が得意とする交流の力を發揮して、多くの企業、文化の「新しいつながり」を創り、伝統と革新を融合させながら、未来の京都を担う人や企業を育て、文化を創ってまいります。そして、「文化の都・京都」を世界に発信しながら、世界の人たちを京都府全域でもてなしたいと考えております。



活力にあふれ誇りの持てる京都づくりへ

京都府知事 西脇 隆俊



発行所
一般社団法人
全国中小建設業協会
全中建 京都
理事長 勝本 一登
編集発行人 太田 康誠
〒604-0924 京都市中京区
河原町通り二条下ル一之船入町
375番地 スリーエスビル5階B号室
TEL (075) 251-1251
FAX (075) 256-3025
http://www.zentyukenkyoto.or.jp

あけまして、おめでとうございませう。

この一年の皆様の御多幸を、お祈り申し上げます。市長の任期もあと2箇月となりました。4期16年間、京都のまちづくりが大きく前進したと御評価いただけるのも、市民、事業者の皆様様の深い御理解と御尽力があればこそ。改めて深く御礼申し上げます。

「課題は現場にある、しかし、答えも解決する力も現場にある」。私は市長就任以来、そんな信念で現地現場主義を貫いてきました。市民の皆様と共に汗する「共汗」を大切に、大好きな京都のために全力を尽くす感動と感謝の日々でした。

振り返ると、2008年リーマンショックからのスタートでしたが、市民の皆様と共に議論を重ねてあらゆる施策を展開しつつ、職

感謝をこめて ~魅力あふれる 京都を未来へ~

京都市長 門川 大作



員一丸となった行財政改革に注力。その結果、厳しい財政状況が続く中でも、全国トップ水準の福祉、教育、子育て支援、安心・安全、景観、文化政策等を充実さ

時に、不転の覚悟の下、フルオープンで徹底した議論を重ね、更なる改革を丁寧な説明を心がけつつ断行。その結果、10年以上かかると思われた収支均衡を2年で達成。これは、国・府との緊密な連携による徹底した市民・事業者の皆様の下支え、長年の都市の成長戦略による担税力の強化が市税収入の増加(過去最高)に繋がったこと。さらには、徹底した効率化等による人件費の削減、理念を大切にしつつ本市独自施策の持続可能な観点での見直しによる歳出削減など、様々な要素が相まって実現したものです。これらもすべて市民、事業者の皆様への京都への愛情、日々の弛まぬお取組の賜物。改めて感謝申し上げます。

せ、京都の都市格が大きく向上しました。

そして、私の4期目の最大の責務は「抜本的な財政改革」。そこに想定外の「コロナ危機」。市民の皆様への命と暮らしを守り抜く。同

超高齢社会を見据え、これからの大切で、更なる子育て支援、住居や働く場の創出をはじめとする人口減少対策、そして、改革を続けつつ、足腰の強い財政へ。同時に、「新・文化庁」や京都駅東部・崇仁に移転・開校した京都芸大・美工高等を中心、幅広い地域で文化を基軸とした都市経営を一層推進。任期の最後まで、京都の最大の宝である「地域力」「文化力」をいかしたまちづくりに力を注ぎ、素晴らしいリーダーに継承してまいります。

文化首都・京都の発展へ。一層の御指導をお願い申し上げます。





一般社団法人
全国中小
建設業協会
全中建京都 理事長
勝本 一登

皆様方におかれましては、
新春を晴々しい気持ちでお迎
えのこととお慶び申し上げま
す。

平素より、全中建京都の活
動に格別のご支援を賜り、厚
く御礼申し上げます。

2020年ごろから、世界
経済までも大きな影響を及
ぼした新型コロナウイルスの
感染拡大によるパンデミック
から、ようやく沈静化が見え
て少しずつ日常生活を取り
戻しつつあるように実感して
おります。しかし、この4年
間というのは思いのほか長
く、人々に大変な傷跡を残し
てしまったようです。感染に
よる苦しみはもとより、日本
経済の受けた影響から、我々
地方の中小企業にとっても

大きな損失を与えたことは否
めません。

新しい年を迎え、これか
ら、この京都の地場を支えて
きた、中小企業の立て直しと
さらなる発展のため頑張っ
ていきたいと思えます。

全中建京都といたしまして
は、それぞれ各会員の企業全
社の発展のために尽力を注い
でいきたいと思えます。

昨年春に統一地方選挙が行
われ、自民党勝利という形に
無事終わりました。その中
で、全中建京都の発足当初か
ら長い間ご指導いただきま
した元京都府議会議長であ
られました山本直彦先生のご
子息様であられる山本修二
京都市会議員が山科から誕生
しました。山本修二議員は、
前市会議員であられます吉
井章参議院議員の後継とし
て出馬され、見事に初当選さ
れました。これを機に全中建
京都の顧問、京都市会議員と
して、東山区選出の平山たか
お市会議員及び山本修二市
会議員の両名に今年度から
お引き受けいただくことと
なりました。全中建京都にご
理解、ご指導いただきますよ
う、お願いいたします。

冒頭にも申しました新型コ
ロナの感染拡大は収束の兆
しではありませんが、まだまだ
世界の経済や生活に大きな
影響を与えています。急激な
円高、石油価格の高騰による
建築材料の高騰、輸入制限な
どの規制から資材が品薄に
なるという状況はしばらく
続いていくとおもわれます。

我々全中建京都の会員各位
におかれましては、非常に厳
しい時ではございますが、持
ち前の底力で乗り切ってい
ただきたいと切に願っており
ます。行政におかれまして
は、現状をご理解いただき、
工事量の確保と適正な利潤
の確保ができるよう現状に
応じた設計単価や工事期間
の見直しを早急にして頂く

よう去年同様引き続きお願い
致します。

今年度は全中建の活動をパ
ワーアップして再開してまい
りたいと思えますので皆様に
はより一層のご理解、ご協力
をお願い致します。今年もまた
会員の皆様方にとって幸福な
一年になることをお祈りし
て、新年のご挨拶とさせてい
たきます。



参議院議員
吉井 章

新年あけましておめでとう
ございます。一般社団法人全
国中小建設業協会全中建京都
の皆さまにおかれましては、
お健やかに新春をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

平素より、勝本一登理事長
をはじめとする全中建京都の
皆さまには、情報交換会や各
種研修会などによりご研鑽を
積まれ、「安全で安心な、住



衆議院議員
田中 英之

新年あけましておめでとう
ございます。

全中建京都の皆様におかれ
ましては、お健やかに令和6
年の新年を迎えられましたこ
とと心よりお慶び申し上げま
す。

勝本一登理事長をはじめ会
員の皆様には、平素より私の
諸活動に温かいご理解とご支

援を賜っておりますことに心
より御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス
が5類感染症に移行し、京都
は観光の皆さんで賑わいを取
り戻しましたが、力強い経済
を取り戻さねばなりません。
その為にしっかりとした議論
が行われるよう、国会に身を
置く者の一人としてその職責
を果たしていきたいと考えて
おり、経営に携わる皆様のご
支援にも機動的に対応できる
よう備えてまいります。

さて、相次ぐ自然災害が後
を絶たず大きな被害をもたら
しております。しなやかな国
土を作る国土強靱化の必要性
はいままでもなく、起りう
る災害に対して地域を守る体
制づくりの強化はその具体性
ます。

私も京都府選出の国会議員
として、まずは景気回復・経
済再生、そして、「領土・領空・
領海、自分たちの国は自分た
ちで守る」「国民の生命と財
産を守る」という強い信念の
もとに、外交・安全保障政策
の構築をはじめ、今こそ、各
種法整備を整えるべきである
と考え、国民の皆様が安心安

をもって推進すべきであると
考えております。

特に、災害発生の際にいち
早く駆けつけ、現場の復旧にご
尽力いただくのは地域の建設
業者様であり、社会に貢献す
る力強い地場産業として、地
域の発展にも多大なる役割を
担っていただいております。本
年も引き続き、それぞれの地
域において活躍くださいます
ようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人全国
中小建設業協会全中建京都
の一層のご隆盛と、会員の皆
様の事業のご繁栄、ご健勝と
ご多幸を祈念し、本年が皆様
にとって輝かしい年となりま
すようお願い申し上げます。新
年のご挨拶とさせていただきます。

全な生活ができますよう全力
を投入して参ります。

また、全中建京都の皆さま
が、安心してお仕事に取り組
んでいただけるような施策の
充実を図り、様々なご要望に
もお応えできるように、今後
も力を尽くして参りますの
で、引き続きのご指導ご鞭撻
を賜りますようお願い申し上
げます。

結びに、本年が皆さまにと
りまして素晴らしい一年とな
りますようお祈り申し上げます
とともに、一般社団法人全
国中小建設業協会全中建京都
の今後益々のご発展と、会員
の皆さまのご健勝とご多幸を
お祈り申し上げます。

新年あけまして



おめでとうございます



京都府議会議員
田中 英夫

新年明けましておめでとう
ございます。

勝本一登理事長様をはじめ、一般社団法人全国中小建設業協会 全中建京都の皆様には、令和6年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。本年も一層のご繁栄がありますよう心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては一応緩和へ向かっての状況とはなっていますが、お仕事の中での安心・安全へのご配慮もまだまだご苦労いただいていることと存

じます。
又、世界情勢の変化による原油高や建設資材を含む物価高騰など、景気の低迷と併せ労働分野では2024年問題もあり様々に厳しい環境にある中ですが、全中建京都の皆様には日々のご努力の中心でまちづくりへの直接の事業執行を通じて地域社会にご貢献いただいていることに深い敬意を表する次第です。
又、併せて全中建京都の皆様には、常日頃より我々自



京都市議会議員
山本 しゅうじ

新年明けましておめでとう
ございます。一般社団法人
全国中小建設業協会全中建
京都の皆様方におかれまして
は、ご健勝にて新春をお迎え

のことと存じます。

私は、昨年4月の京都市会議員選挙山科区選挙区において、吉井章議員の後継として初当選をさせていただきましたことが出来ました。これもひとえに、勝本一登理事長を中心とする、全中建京都の皆様方の温かいご理解と力強いご支援の賜物であります。あらためまして、心より厚く御礼申し上げます。

また、この度は、私を顧問の末席に加えていただき、大変光栄に存じますとともに、身の引き締まる思いで一杯であります。

また、世界情勢の変化による原油高や建設資材を含む物価高騰など、景気の低迷と併せ労働分野では2024年問題もあり様々に厳しい環境にある中ですが、全中建京都の皆様には日々のご努力の中心でまちづくりへの直接の事業執行を通じて地域社会にご貢献いただいていることに深い敬意を表する次第です。
又、併せて全中建京都の皆様には、常日頃より我々自

らびに自民党京都市会議員団の先輩方と一緒に、各委員会・分科会等でも審議を尽くして参りました。国会・府会・市会の先輩・同僚議員のお力をいただきながら、全中建京都の皆様のお声が京都市政の中で反映されるように、私自身の力を尽くして参る所存です。何とぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

さで、わが国、そして京都市を取り巻く社会経済諸情勢は大変厳しく、コロナ禍で傷ついた経済、さらに追い打ちをかける原油、原材料、物価の高騰などに加えて、あらゆる業界における担い手不足など、課題は山積しております。
私は、京都市会において産業交通水道委員会に所属しております。産業観光局所管の中小企業経営支援、地域企業振興など、中小企業の皆様に寄り添った支援策が、迅速かつ的確に実行されるように、顧問の平山たかお議員な

又、本年は京都市長選挙が予定されています。皆様には引き続きあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特に昨年は春の統一地方選につき多くのご支援をいただき誠にありがとうございます。結果は厳しい状況もありましたが、我々自民党議員団といたしましては、本市の政治・行政の前進に向けて今後も一層の努力を続けてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お願い申し上げます。
結びにあたり、一般社団法人全国中小建設業協会全中建京都の今後益々のご発展と、会員各位の社業のご繁栄、皆々様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げ、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

いよいよ本年は京都市長選挙の年であります。安定的な京都市政運営に向けて、全中建京都の皆様が力強いご支援を賜りますよう、重ねて



京都市議会議員
平山 たかお

新年あけましておめでとう
ございます。一般社団法人
全国中小建設業協会全中建
京都の皆様におかれまして
は、お健やかな新春をお
迎える事とお慶び申し上げ
ます。

のご支援にしっかりとお応えすることが出来るように頑張つて参ります。
私は、その選挙戦の時にも訴えておりましたが、「所得の向上こそ、様々な福祉の充実に繋がる」との確信の下、まずは、建設業をはじめとした皆様の所得が向上することこそが世の中の経済や景気を活性化させる一丁目一番地であり、経済の好循環を生み出すものだと認識しています。

特に、皆様方の長年に渡る京都の社会基盤整備への尽力に改めて敬意を表すると共に、昨今の長寿社会の進展に伴い、担われる役割も変遷する部分もある中で、今後、背負われる社会的責務も益々重要になってくる業界であると認識しています。
いずれに致しましても、全中建京都の皆様が安心してお仕事に取り組んでいただける施策の充実に、京都域内の経済の活性化に繋がるように、微力ながら尽力して参る所存でございますので、今後ともよろしくお願ひ致します。
結びに、令和6年が皆様方にとって素晴らしい一年と祈念申し上げます。貴会の益々のご発展、皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。

令和6年 年頭所感

一般社団法人
全国中小建設業
協会 会長

土志田 領司



令和6年 新年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆さま方におかれましては、平素より中小建設業界の健全な発展のため、当協会の活動に対しまして特段のご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

昨年にも全国各地で気候変動による豪雨等の大規模な自然災害が毎年発生し、甚大な被害をもたらしました。国においては、この自然災害から国民の生命と財産を守るため、「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」を着実に実施され整備効果が発現され被害が軽減されている実態もあり、国民にとっては非常にありがたいことであります。

我々中小建設業界は、地域の人々の生活をより豊かにするインフラ整備を行うことにより、地域住民を災害から守り、安心して暮らせるよう施設の建設や維持を日々の生業としております。また、災害時にあっては、住民の先頭に

立って安全・安心を守る活動を行い、「地域の守り手」として使命を果たしております。

しかし、地方公共団体が発注する工事量に変動があるため、安定経営を営めない企業も多数存在しております。中長期的に安定的・持続的な予算確保がされれば、企業としても経営の安定に向けて努力することが可能となります。さらには、従業員の処遇改善、若者の雇用が可能となります。地域に根差しているからこそ「地域社会に貢献する力強い地場産業」としての役割を十分果たすことができま

す。インフラ整備には概成はありませんが、一度作ったら終わりではなく適切な維持修繕・更新などメンテナンスが必ず必要となります。また、国民生活のスタイルの変化や、新たな技術革新により求められるインフラの水準も日々変化してきます。このためにも、地域の人々が安心して豊かに暮らせるためのインフラ整備を引き続き実施してまいります。

最後に、新しい年が業界にとって環境が好転し、より素晴らしい年でありますようお祈り申し上げますとともに、皆さま方のご健勝とさらなるご発展・ご活躍をご祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。

全中建京都 第46回通常総会

令和5年6月29日、京都リサーチパークにおいて令和元年以来となる対面での通常総会を開催しました。議事は西村副理事長を議長として進行、22年度事業報告・収支決算、23年度事業計画・予算案、役員改選案などが報告されました。役員については理事長を始め全員再任、勝本理事長は「新型コロナウイルスの感染拡大

は大きな影響をもたらした。いまは落ち着き現場では感染拡大に注意して欲しい。行政に対しては工事量や適正な利潤の確保、工事期間の見直しなどを求めている。建設業界としてはまだまだ大変厳しい状況ではあるが、持ち前の底力で乗り切ってもらいたいと願っている。」と述べられました。

若手部会 総会

令和5年7月14日、AN Aクラウンプラザホテル京都で全中建京都・若手部会の総会を開催しました。こちらも令和元年以来の対面開催となります。土井会長は「若手部会は、建設業界の未来を担う若手の皆さんが共に成長し、刺激しあう場です。私たちは若手の力を最大限発揮して、アイデアやスキルを活かし、建設業界に新たな価値をもたらすことを目指しています。総会は活動を振り返り、今後の方針を確認する重要な場です。皆さんの意見交換や協力を通じてよりよい環境を整え、メンバーひとりひとりの成長と発展を支援

していきたい」と述べられました。が、この挨拶文は昨今話題のチャットGPTで作成した文章であると披露、全く違和感ない内容に、参加者は一様に驚きました。来賓として出席の勝本理事長は「中小建設業はいつの時代においても必要であると考えているが、いま問題なのは後継者であり、また、若い人材の不足である。若手部会においても、建設業が魅力ある産業になるよう、考えて頂きたい」と述べられました。

議事は、22年度事業報告・収支決算、23年度事業計画・予算案、そして役員改選、全会一致承認されました。総会

後は懇親会が開かれ、コロナで久しく自粛していた事もあって大いに親睦を深めました。



Web版建設経済新聞 **KJC** **わっと**
<http://www.kjc-news.co.jp>



公益社団法人日本専門新聞協会加盟

(株)建設経済新聞社

〒605-0963

京都市東山区本瓦町660-6

TEL (075) 541-0328 FAX (075) 541-0348

E-mail: info@kjc-news.co.jp

京都の建設情報メディア

日刊 **建設タイムズ**

<http://www.kyoto-kensetsutimes.co.jp>

〒611-0041 京都府宇治市横島町落合119 TEL 0774-21-0011 FAX 0774-21-0022

ホームページ会員募集中!! 「見やすく、使いやすく」見たい情報にもすばやくアクセス!! 京都建設タイムズ

エリア・ウィンド 株式会社



2023年度研修旅行レポート

有限会社梅原金属工業 梅原 剛

2023年9月8日～10日の日程で東北地方へ4年ぶりとなる研修旅行に行く事となりました。

初日は、仙台空港到着後、マイクロバスでの移動で、伊達62万石の居城である仙台城跡(青葉城)を訪れました。ここに有名な伊達政宗公騎馬像があります。天下取りの野望に燃えた政宗が標高約130m、東と南を断崖が固める天然の要害に築かせた城です。しかし時の将軍家康の警戒を避けるために、あえて天守閣を設けなかったとの事です。現在城跡一帯は青葉山公園となっており本丸跡からは仙台市内、太平洋を望むことができました。

次に訪れたのが、日本三景の一つ松島です。松島は湾内に浮かぶ大小260あまりの島々が織りなす美しい景色で知られており周りには物産店・体験教室などの施設が建ち並び毎年大勢の観光客を集めています。2011年の東日本大震災では、本来リアス式海岸では、奥に行けば行くほど狭くなるため波が上に積みかさなり巨大な津波となつて被害を大きくしました。しかし、同じリアス式海岸であるにもかかわらず松島町では他と比べると軽微な被害だったそうです。一説には、硬い岩盤ばかりではなく、島々の軟弱な地盤が削られる時に波の力を弱めたのではないかと

言われております。二日目は、最初に毛越寺を拝観させていただきました。嘉祥3年(平安時代初期)に開かれたお寺で、平安時代そのままの姿を残す「浄土庭園」が有名です。この庭園は大自然を縮景した様子で配置されています。庭園の背景にある塔山を山脈に見立て、そこに雨が降ると雨水が集まり川となります。川の上流部分は急流で細く、下流に行くにつれだんだん緩やかになり平地になると川幅が広くなりやがて海へとつながります。この庭園の導水が川で池が海を表現しています。砂浜、荒磯風の水分け、浪返しにあたる立石、枯山水風の築山といった石組み等で構成されています。次に訪れたのが中尊寺です。嘉祥3年比叡山延暦寺の高僧慈覚大師円仁によって開かれました。こちらにある金色堂は、極楽浄土の有様を具

本部若手経営者部会

有限会社スギテック 梅田 幸一

令和5年10月19日(木) 全中建若手経営者部会がコーヤード・マリオット銀座東武ホテルで開催されました。まず、建設業復興対策委員会・小野委員長と全中建若手経営者部会・中山部会長より、開会のご挨拶として、建設業の現状の課題である、新担い手3法に関わる働き方改革の推進や、それに伴う生産性向上、災害時の対応強化など、建設業が全体として取り組んでいく必要があるというお話を頂

戴いたしました。次に、国土交通省 不動産・建設経済局 入札制度企画指導室長である沖本様より、建設業行政の課題について、ご講演を頂戴いたしました。まず、労働者の減少と建設予算の推移についてです。労働者過不足率は過去10年の変動幅にある中、不調不労率は減少している。つまりその推移をみても、問題は施工余力ではなく、現状の実態に見合った金額や工期の設定になつていないことが大きな問題であるという事です。また、行政の賃上げ対策や建設資材の価格高騰、働き方改革の促

進などのお話を頂きました。その後、各副部会長と沖本様と、意見交換を行いました。色々なお話がありました。私が一番印象に残ったことは、国土交通省と厚生労働省の縦割り構造に課題があると感じました。国土交通省は、建設業界の健全な発展と公共インフラの維持管理を目指しており、そのためには十分な労働力が必要です。一方、厚生労働省は、労働者の健康と安全を守るため、時間外労働の規制を強化しています。これらの政策は、それぞれの省庁の視点からは合理的ですが、建設業者から見れば、人手不足と時間外労働の規制は相反する課題であり、両立が困難な場合があります。

足と時間外労働の規制の問題を共同で対策することが必要です。特にこのような、担当者レベルの判断に個人差が生まれる作業は、ITやAIの導入により効率化を推進する政策が必要かもしれないと感じました。また、建設業者自身も、労働力の確保と育成、生産性向上のための技術革新、リスク管理の強化などに取り組む必要があります。特に、AIやロボット技術の導入による労働力不足の解消や生産性の向上は、今後の建設業界における重要な課題となるでしょう。建設業界の課題解決には、行政の支援と建設業者の自己改革が必要です。部会の皆さまの益々のご発展に繋がりますように、部会の一員として今後も取り組んでいきたいと思っております。

体的に表現しようとし往時の工芸技術が集約された御堂です。内外に金箔を押し、南洋の海からシルクロードを渡つてもたらされた夜光貝を用いた螺鈿細工に象牙や宝石を施した大変美しい御堂でした。次に岩鑄鉄器館を訪れ、南部鉄器の歴史から現在に至る鉄器の製造プロセス等を見学し南部鉄器の世界を堪能致しました。三日目は、航空自衛隊三沢基地で行われる三沢基地航空祭2023に参加してきました。普段では見られない迫力ある演習を目の当たりにし、自衛隊の方々の日々の努力には感動するばかりでした。今回の研修旅行で感じたことは、普段では見過ごしている物事の奥深さを知る大切さ、触れる事の大切さ、伝えていく事の大切さを考えるいい機会となりました。



全中建ブロック別 意見交換会

令和5年10月30日、リーガロイヤルホテル京都において、一般社団法人全国中小建設業協会主催の全国ブロック別意見交換会が開催されました。この意見交換会が始められて10年、近畿ブロックとして全中建京都での開催は、今回で3回目となります。

この日は全中建から土志田領司会長、小野徹副会長、空久保副会長および事務局、国交省から不動産・建設経済局建設課の沖本俊太郎入札制度企画指導室長と櫻井紘司連携推進係長、近畿地整から山田優企画部技術管理課課長補佐、征矢道仁建設部建設産業第一課課長、池田達也営繕部技術・評価課課長、京都市から菅原康宏行財政局管財契約部契約課長、全中建京都から勝本理事長を始め役員13名が出席しました。

開会あいさつで小野副会長は「全中建では中小建設業界の置かれている状況が少しでも改善されるよう、行政機関への働きかけなど活動してきた。意見交換会が有意義な場となるよう、強く希望する」と述べられました。全中建京都・



勝本理事長は「国交省の取り組みをぜひお聞かせ願いたく、積極的な意見交換を願っております」と述べられました。

意見交換に先立ち、沖本室長より「建設行政の課題について」講演され、意見交換会では「建設業の働き方改革について(賃金アップ、週休2日制、希望の産業への変換等)」をテーマに進められ、まず全中建京都会員アンケートの中からこのテーマに沿ったものを

発言。週休2日に伴う十分な工期の確保、また工期延長による諸経費の増加に対して歩掛り等見直しのうえ適切な積算をしてもらおうという国から指導をお願いしたいという意見に対し、地方自治体に対しては再三お願いしている、歩掛りについてはどのような答えを出せるか考えていきたいと述べられました。また、稼働日数の減少は売り上げの減少に直結し、一般社員を休ませて役職者が出勤するなど負担が増えている、工期設定を含めて国の取組が地方に浸透するよう指導して欲しいという意見に対しては、これまでは一部週休2日で発注していたが今後は基本的に週休2日だとお願いしたいと考えていると述べられました。その他いく

つもの議題で意見交換しましたが、京都も含めて今年度全国での意見交換会の詳細は、従来は全中建だよりに分散掲載でしたが、年度末までに冊子にまとめて発行される予定です。

土志田会長は「全中建京都の切実な思いがひしひしと伝わった。若い人が入ってくるにはこのような問題を解決していかなければならない、それは全国的な問題でもある。今後も意見交換の機会を増やしていきたい」、空久保副会長は閉会にあたって「我々中小建設業界は引き続き厳しい状況にある。地域の現状や問題点も把握し、課題解決に向けて協会として取り組んでいきたい」とそれぞれ述べられました。

全中建京都新年懇親会

ご多忙とは思いますが、多数のご出席を
頂きますよう、お願い申し上げます。

●日時

令和6年1月23日(火)

午後6時30分 受付

午後7時 開宴

●場所

リーガロイヤルホテル京都 春秋の間

一役員名簿

◆理事長

勝本一登 (株)勝本建設

◆副理事長

山川博行 (山川土木工業(株))

前田宗一 (株)前田英工務店

西村尚三 (株)西村宇工務店

◆相談役理事

桃井繁造 (株)匠

金光 鐘楽 (京和産業(株))

山田孝司 (光建設(株))

◆参与理事

西村勝代 (株)西村宇工務店

井上義昭 (株)井上建設

太田康誠 (株)太田工務店

熊野光守 (有)共栄建設

稲村 崇 (株)稲村工務店

大隈弘幸 (京都住宅サービス(株))

久保卓司 (株)山梨組

石野公士 (富士建設(株))

◆監査役

白川義成 (株)白川工業

坂田晃啓 (洛南建設(株))

◆参与

中嶋武男

◆専務理事

井藤 忠 (全中建京都)

◆新入会員

山村土木興業(株)

(株)萬栄建設

(株)日創建設

(株)アズーロ

豊田建設(株)

(株)三都

◆大文字だより

編集委員長

編集委員

オブザーバー

◆若手部会

会長

制作 (株)ひでみ企画

古川行政書士事務所

行政書士 古川 隆文

建設業(許可・経審・指名願) 産廃許可

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄平野57-31
TEL (0774) 33-5677 FAX (0774) 33-6372
E-mail furuka@ares.eonet.ne.jp

保険のプロ!



保険は「保険のプロ」にお任せ下さい!

075-394-0871

損害保険 生命保険 各種保険ご相談 [営業時間] AM 9:30~PM 18:00 (TEL受付17時まで) [休業日] 土・日・祝
株式会社 京都ウエスト 〒615-8106 京都市西京区川島滑樋町50-9 阪急桂駅東口より南へ800m
亀岡支店 〒621-0016 亀岡市大井町南金岐町田23-5 TEL0771-23-0871 京都縦貫道大井IC降りてスグ